

2024年度 メリー★ポピンズ 朝霞台ルーム 事業計画書

1. 基本方針

どろんこ会グループの理念と子育て保育目標に基づき、以下の方針を掲げる。

- ① 大人と子どもの「にんげん力」の向上を図る。自分でできることに意欲的に挑戦する力をもつ子どもと、子どもに今一番必要な体験を常に考え学び、実践し続ける保育者とが、互いに刺激を受け合い成長する保育を実践する。
- ② 乳幼児期の保育と育ちが一生にわたる豊かな成長の出発点であることを前提に、これからの日本の未来を担う子どもに必要な経験について考察する。乳幼児期の発達や学びの特性を捉え、入園から修了までの見通しを持った生活や遊びの充実を図り、養護と教育を一体的に展開していく。
- ③ 利用者のニーズを理解し、気持ちの良い接遇を心掛ける。子育て世代に限らず、地域全体を巻き込む活動の実践で、地域全体から親しまれる園を目指す。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子どもの「やってみたい」を実現する。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期に必要な経験を提供すると共に、自ら選択できる環境を整える。 ・子どものサインを適切に受け取り、子どもの自己選択を促しつつ、温かく応答的に関わる。 ・子どもの挑戦しようとする姿を成長と捉え、前向きな視点で子どもの育ちを援助していく。
2	計画・ねらい	関わる力を育む。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大人が一定の距離をとり、見守り様々なモノを常設する。 ・人と関わる心が心地よい経験となるよう、家庭的で温かな環境を整え、共感していく。 ・ひたすら守るという保育ではなく、いかに子どもの育つ力を伸ばしていくかを、一人ひとり見極めながら保育を実践する。
3	計画・ねらい	一人ひとりの育ちを認める保育の実践。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもそれぞれに育ちがあり、「できる・できない」といった評価で見るのではなく、子どもの興味・関心や気持ちに目を向け、子どもを肯定的に捉えながら、学びに向かう力や可能性を伸ばしていく。 ・保育者が子どもの良さを認め、受け止めていく保育を実施する。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	子どもの発達の様子を保護者に細やかに共有、発信して育ちを共に喜び合える関係性を構築する。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え対応の内容を研修や会議で定期的に見直し、日々充実を図る。 ・写真や動画を使った保育内容の共有で、より臨場感のある発信を行う。 ・保育参加、面談への積極的な呼びかけを行い、園での子どもの様子や園の取り組みを実際に見て知る機会を作る。 ・ポートフォリオやお迎え対応、面談を活用して、園の保育についての発信を増やす。
2	計画・ねらい	子育てのパートナーに選んでいただいたことを常に自覚し、気持ちの良い接遇を日々追求する。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いつみてもきれいな外観、内観を保つ。 ・保護者のニーズを理解し、保育者と保護者で共通理解をもった上で保育に臨む。 ・相手の立場に立った対応（接遇）を職員自身が考えて行動する。
3	計画・ねらい	自園の保育を職員一人ひとりが自分の言葉で保護者に説明することができ、保育内容の共有や理解を深める。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に自分の言葉で自園の良さを伝えられる職員を育成する。 ・毎日のお迎え対応や面談等を通じて、家庭の背景を理解し、子ども一人ひとりの育ちを捉え保護者と共有していく。 ・発達に合わせた保育、必要な体験について、保護者の理解と納得を得られるような活動の実施と子どもの成長の姿を伝えていく。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	自園を利用される保護者を含め、地域の保護者が求めるニーズを理解し、園で応えられる最善の支援を行う。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市の子育てにまつわる地域性を理解し、支援に活かす。 ・保育園を利用していない保護者が保育園や子育て支援事業に求めるニーズを把握し、積極的に関わりを呼びかけていく。
2	計画・ねらい	自園での取り組みや成果を地域に向けて発信し続け、より多くの方に園を知ってもらおう。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青空保育やちきんえっぐの参加者に園見学を呼びかける。 ・SNSを活用した継続的な情報発信を行う。 ・日々の玄関前での挨拶や散歩時の挨拶を継続する。
3	計画・ねらい	地域の保護者同士をつなぐ役割を果たす。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青空保育やちきんえっぐの参加者に継続的に参加を呼びかけ、「顔なじみ」を増やす手助けを行う。 ・地域の保護者が興味をもちやすい行事の開催、わかりやすい告知を心掛ける。 ・近隣の系列園とも連携を図り、地域の保護者への広報活動を行う。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	大人のにんげん力を向上させる。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・考え、学び、動く、自律する保育者集団となる。 ・相手の立場に立った対応や気持ちの良い接遇、学ぶ姿勢をチームで考え、実践していく。 ・個を認め、個を活かすことで、チーム力を向上させる。
2	計画・ねらい	一人ひとりがプロフェッショナルとして考えて行動する。専門性を活かした保育の継続を目指す。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修、会議のファシリテートを経験し、リーダーシップを養う。 ・子どもの発達について知識や学びを共有し、互いに専門性を高め合う。 ・社内、社外の研修制度を積極的に活用し、自身の学び及び後輩育成に役立てていく。
3	計画・ねらい	自身の育成計画を自身でたて、仕事に対するやりがい、モチベーションを向上させる。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個々が力を入れて取り組みたい目標設定を行い、上長との定期的な面談や日々の保育の振り返りを通じて目標達成を目指す。 ・計画から実行、振り返りまでのPDCAを確実に実践し、成果を積み重ねて仕事に対する自信と考え、学び、動き続ける建設的な姿勢を身に付ける。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	食育や環境にまつわる活動を通じて給食残渣の削減を目指す。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・可食部以外の食材の活用法を通じて、環境に配慮した食育活動や堆肥づくりを行う。 ・自給自足を大人と子どもが協働して体験し、給食残渣の削減を目指す。
2	計画・ねらい	年々変化していく環境に対応した保育の展開を目指す。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンや、日陰の多い公園を活用し、エアコンからの温室効果ガスの排出を減らす。 ・園前や公園でのごみ拾いを通じて、地域にも環境保全を働き掛けていく。

〈6〉子どもの「やってみたい」が実現する環境作り

1	計画・ねらい	子ども自ら選択することのできる環境設定
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に参加したくなるような体験活動と自分で選択できる物的環境を用意する。 ・保育室内のコーナーの配置や職員の位置取りについて日々話し合い、その時その時で最善の環境を設定する。

2	計画・ねらい	保育者自身が環境としての役割を把握し、適切な関わり方を実践する。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって心地よい関わり方や子どもの自主性を促す関わり方について日々話し合い、適切な声量や触れ合い方を追求する。 ・定期的にチェックリスト等を活用して、子どもの人権を尊重した保育について議論を重ね、誰が見ても気持ちの良い保育を目指す。
3	計画・ねらい	子どもの育ちと養護・教育が一体となった保育の実践。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを充実させ、発達を促す体験につなげていくために、教材（遊びや活動を含む）に関する知識や技能を身に付ける。 ・一人ひとりの発達や集団の育ちの状況に応じて、多様な生活体験、自然体験、異年齢交流など、具体的に保育を構想し実践する。

〈7〉「食を営む力」を育む保育の実践

1	計画・ねらい	生活、遊びの中で食への意欲を高める。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・時間いっぱい戸外で自然に触れて活動し、空腹を感じる体験を重ねる。 ・野菜の栽培や下処理を継続的に取り入れ、「食べる」「作る」を両方体験する。
2	計画・ねらい	生き物の生死、食の循環に触れて食べることの大切さを知る。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・魚の解体や堆肥作り等、食べること以外の食にまつわる活動を通して、食べる意欲を高める。 ・子どもと大人が協働して食の循環活動に取り組む。

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
9人	12人	12人	0人	0人	0人	33人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	10人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	4人	補助	0人	調理	0人	事務	0人

3. 運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回 20分	保育内容の充実における討議
給食運営会議	月1回	食育会議に基づく食育活動、離乳食・アレルギー等の共有
事故防止委員会	月1回	自園及び系列園における事故事例に基づいた討議
ケース会議	月1回	個別配慮を要する子どもについて
係会議、クラス会議	随時	保育内容の検討、子どもの発達について

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	法人本部より伝達事項、検討事項、運営状況報告
施設長勉強会	月1回	園運営に係る相互学習
食育会議	年4回	給食提供および食育・献立に係る検討、各種マニュアルの改訂
保健会議	年4回	園全体の保健に係る検討、各種マニュアルの改訂
主任会議	月1回	園運営に係るマネジメント学習、次期施設長養成
子育ての質を上げる会議	月1回	保育内容の質の向上に係る学習、意見交換

〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
----	---------

衛生管理係	保健衛生管理、安全管理、感染症等の呼びかけ
安全対策係	ヒヤリハット、インシデントの分析、事故防止、危機管理
防火管理者	消防計画に則り、災害時や不審者対応に対する取り組み (避難訓練等の立案、実行、反省等を含む)
食品衛生責任者	食品の安全に対する管理
畑係	年間畑計画の遂行や畑仕事の確認、整備、管理
備品係	備品点検と発注、補充

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
保護者連携係	どろんこ祭りをはじめとする保護者参加行事において、保護者と共同的に準備、進行を行う
地域連携係	青空保育、子育て支援等の地域に向けた対外的な広報を行う

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性に応じた成長や発達を理解し、適切な援助を行う。 保育者との愛着形成がしっかりと築かれ、安心できる環境の中で探索活動を楽しみながら五感を育む。 言葉以外の感情の表出をくみ取り、寄り添い共感していく。
	下半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発達にあった全身運動や表現活動を通じて、挑戦する意欲を育て、できた喜びを味わう。 身のまわりのことに興味を示し、年上の子を真似てみたり保育者と一緒に取り組んでみたりする。 戸外活動で自然物や生き物に触れ、積極的に関わりをもつ。 保育者や友達との関わりを通じて、自我や人と関わる力を育む。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> 随時、希望する保護者に対し実施 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用

運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定
-------	-----	-------------

〈2〉年間行事計画

- ・2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	食事の時間を「楽しい」「おいしい」「嬉しい」時間とする。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や保育士、栄養士と一緒に食事をとり、好きな人と一緒に食べることや好きな場所で味わう充実感を味わう。 ・落ち着いた食事環境と保育者の丁寧な関わりで、心もお腹も満たされる時間とする。食べる喜びを十分に感じられるようにする。
2	計画・ねらい	家庭との連携を図り、食を営む力の基礎を作る。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士や栄養士の専門知識を活かし、空腹に導ける戸外活動や食材に触れる体験を重ねる。 ・家庭で抱える食事への不安や疑問を保護者とともに解決し、園での取り組みやそれに対する子どもの反応を積極的に伝えていく。
3	計画・ねらい	継続して畑仕事や食育活動に取り組み、食の循環に触れる。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・畑仕事や食材の下処理など、食材に触れる機会や調理のプロセスを身近に感じられる取り組みを通じて食への興味を高める。 ・「食べること」「作ること」の両方を体験し、食材やそれに関わる環境の大切さを身近に感じる。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い指導、歯磨き指導、爪の清潔点検
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施

	6～8月頃・・・手足口病、ヘルパンギーナ、アデノウイルス 11～3月頃・・・インフルエンザ、感染性胃腸炎
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・1名より預かり済み／冷蔵庫にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在14名が、研修受講し、修得済み
AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	本日現在14名が、研修受講し、修得済み
その他保健に関する取組	予防接種の確認、薄着の励行、爪のチェック。 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	フロン点検(簡易)	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月

運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	子ども自らが経験の選択をすることができる室内のゾーン設定を行う。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自らが様々なものにいつでも主体的に関われる環境、経験を選び取れる環境を用意する。 ・子どもの視野でわかりやすい玩具の配置や、興味をひきやすい玩具の配置を行う。 ・室内環境に季節感のある自然物や子どもたちの表現活動の作品を取り入れることで、五感を刺激する環境を用意する。 ・大人の声量や言葉かけの量を意識して、子どもが安心して過ごせる保育室内にする。
2	計画・ねらい	戸外でものびのびと安全に探索活動を楽しめる活動を提供する。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や土手での活動前の安全確認や清掃活動を継続し、子どもがいつでも遊びたい場所、遊びたいものを見つけられるようにする。 ・発達に合わせた適切な散歩距離や行先を選定する。 ・2歳児は子ども同士の話し合いによって行先を決める等、子どもの意思が十分に尊重された戸外活動を保障する。
3	計画・ねらい	保育者も環境の一部として自覚ある行動をとる。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・物を大切に丁寧に扱う、いつも清潔を心掛けるなど、保育者自身が子どもに背中を見せて伝えていく。 ・状況に応じて活発に動ける場所、心を落ち着かせて過ごせる場所を適切に用意できるように、保育者一人ひとりが環境構成について学びを深める。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

該当なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	危機管理マニュアルNo.3の災害対策に則り、消防計画、避難訓練、避難訓練開催通知、自衛消防訓練通知、普通救命救急資格取得手続き、防災自主点検、危機管理マニュアルの周知、自衛消防組織と安全対策係の設置、緊
---	--------	---

		急地震速報運用を行う。 また、定期的に非常持ち出し品、非常備蓄品、防災準備品の点検を行う。 災害発生時には対応フローチャートに従う。
2	実践予定内容	危機管理マニュアルNo.3のケガ事故防止・安全点検と保全に則り、事故防止チェック及び設備点検チェックの実施、AEDの点検と訓練、安全教育、SIDS防止策、与薬ミス防止策を徹底する。 ケガ事故防止のための保育士行動基準をもとに室内や戸外での危機管理について職員間で学ぶ。 ケガ事故発生時には対応フローチャートに従う。
3	実践予定内容	危機管理マニュアルNo.3の不審者対策に則り、不審者侵入訓練の実施、笛の携帯、代理送迎者の把握、不審者情報の収集と共有を行う。 不審者侵入時には対応フローチャートに従う。
4	実践予定内容	危機管理マニュアルNo.3の光化学スモッグ対策に則り、光化学スモッグの知識を身につけ、職員全員が自治体の「光化学スモッグ注意報発令メール配信システム」に登録し、注意報発令の把握を行う。 光化学スモッグ発生時には対応フローチャートに従う。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

保育の仕事に興味・関心をもってもらえるよう、積極的に実習生や中高生の受け入れを行う。地域の職場体験の場を提供し、生徒一人ひとりに応じた援助や指導を行う。

1	実践予定内容	子どもが様々な人と関わる機会とし、地域交流の機会、次世代保育者への興味・育成へとつなげていく。
2	実践予定内容	実習生に対しては、子どもに必要な体験や保育者に求められる力をリアルに伝えられる存在として指導しながら、保育者のやりがいも存分に伝えていく。

7. スタッフ育成と研修計画

新人研修

新人社員研修

スタッフ研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修

保育スキル研修



←お迎え
対応研修



←避難訓練研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)
(= 保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

〈1〉 2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月19日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 安全管理研修	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・ 怪我ケーススタディ ・ 安全計画に則った危機管理の基本
5月17日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② カリキュラム・マネジメント	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・ 保育の質向上に向けた、具多的な取り組みを考える。
6月21日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 「10の姿」	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・ 幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿を再認識し、見通しを持った保育の実施と視点を持つ
7月19日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 012歳児保育と「10の姿」の向き合い方	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・ 乳幼児期に必要な経験、環境を考え、計画に盛り込み、実施
8月9日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 012歳児保育で大切なこと	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・ 保育の姿勢、子どもの姿の捉え方、保育の援助、環境等の具体的な見直し
9月20日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 非認知能力を伸ばす	・ 自己の保育の振り返りと目標設定 ・ 非認知能力を伸ばすための援助、ポイントを学び、計画、実践する
10月18日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点	・ 自己の保育の振り返りと目標設定

		② 主体的な保育	・子どもの主体性に責任を持つ ・子どもの主体性をサポートする環境について
11月15日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育所と保育者の使命	・自己の保育の振り返りと目標設定 ・保育所の役割と保育者の責務について
12月20日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育の5領域	・自己の保育の振り返りと目標設定 ・5領域について再考し、子どもの姿を丁寧に捉える
1月24日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 今年度の振り返り	・自己の保育の振り返りと目標設定 ・養護と教育が一体となった保育について振り返り（アセスメント）
2月21日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 次年度目標設定	・自己の保育の振り返りと目標設定 ・次年度の目標を決め、年間計画を策定する
3月2日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 年間計画策定会議	・自己の保育の振り返りと目標設定 ・農業計画を立てて、作物の栽培に必要な知識を身につける。

エリア研修予算内訳（朝霞、志木地区合同開催）「エリア学ぶさくらさくらんぼリズムの共通理解」

開催日	予算	予算の内訳		例) ●園で按分した自園負担額
4月～6月で2回実施。 18:30～20:00	0円	講師代（交通費含む）	0円	0円 内容:講義と実技研修。体を動かしながら共通理解を深めより質の高いさくらさくらんぼリズムを身に付ける。その後、各園に下ろし、職員に伝えて行く。 講師:古川みどりさん
合計	0円		0円	0円

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
--	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デモンクインナーソップ	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

戸外で積極的に地域の人との交流を図り、同年代だけでなく異世代の人との関わりも積み重ねていくことで子どものもつ人と関わる力を培う。育児相談や園見学、子育て支援等の取り組みへの参加を積極的に呼びかけ、地域の保護者同士のつながりを築く手助けをする。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：弁財公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	老人施設訪問、中高生の職業体験受入れ、小学生との交流行事
異年齢交流	近隣保育園、学童保育室との交流
地域拠点活動	青空保育や園開放、一時保育、地域公開講座等ちきんえっぐの取り組み

9. 小学校との連携の計画

該当なし

10. 要支援児計画

〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

特別な支援が必要な乳児については、個別に保育計画を作成する。家庭や関係機関と連携しながら、計画的かつ継続的に一人ひとりに応じた保育内容や配慮を実践する。

〈2〉 毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：13名予定)

職員間で共通理解を図りながら取り組むことを基本とする。子どもの姿、保育者の援助、家庭での様子のカンファレンスやケーススタディの実施。

〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

進級については、連携施設と定期的に交流を行いながら、子どもの様子を共有する。個別の計画記録をもとに年度末に引き継ぎを行い、進級後も継続して必要な配慮が実践できるようにする。

11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	月1回 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	月1回 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(金) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：弁財公園にて開催

1.2. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2024年10月に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時00分

自己評価終了予定時刻：16時00分

自己評価実施予定者：施設長、主任、調理師、各リーダー

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月23日

1.3. 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがまわりの人、モノ、事象との関わりで感性を育み、何事にも挑戦する意欲を育めるようにする。 ・スタッフは自ら学び、取り組む意欲を高め、自身の学びを活かしてチームワークの向上を図る。 ・誰からも選ばれる園を目指し、スタッフ全員が相手の心に入り込む接遇をする。
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の日課や戸外活動を通して、子どもの関わろうとする姿を見守り、自ら挑戦する姿を大切に保育の実践に努めた。子どもを前向きな視点で見つめ、自ら育とうとする姿を大切に引き続き保育の充実を図っていく。 ・スタッフ一人ひとりの個性を活かし、保育に展開してきた。個を認め、他を活かすことでチームワークが向上してきている。また、情報共有を密に行うことで、様々な視点での学びにも繋がってきている。 ・組織目標と個人目標管理に接遇向上を取り入れ、意識して取り組んできた。職員会議などでコンピテンシーを活用し、話し合い、振り返り、実践することができた。引き続き、相手の立場に立った園接遇の向上に取り組んでいく。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	子どもと大人の「やってみたい」が実現する園になる。
--------	------	---------------------------

	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが大人に見守られながら挑戦を続ける（自ら経験の選択ができる）環境を整える。 ・目標管理や残業時間の削減を継続し、スタッフの仕事に対するやりがいと業務効率をあげる。学びを深め、にんげん力向上に努める。相手の立場に立った園接遇の向上を目指す。 ・地域に親しまれる園を目指し、子どもを真ん中に保護者・地域・園で交流がとれる場を作る。
2025年度	目指す姿	豊かな学びと育ちを育む園になる。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが豊かな体験を積み重ね、十分に自己を発揮できる環境を整える。 ・スタッフが一人ひとりやりがいをもって協働し、働きやすい環境を整える。 ・地域の人が気軽に園を訪れ、情報交換ができる場を作る。
2026年度	目指す姿	子どもだけでなく保護者や地域からも親しまれ、自立した園になる。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な心と身体を育み、自ら学びに向かう子を育てる。 ・スタッフ全員が主体的な学びを保育に活かし、発展的な保育運営を実践する。 ・園を基盤としたネットワークを作り、地域全体で子育てを行っていく。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 朝霞台ルーム 施設長 柳あすか